

第7章 意思決定

この章で学ぶこと

- ① 個人や企業の意思決定を経済学でどうモデル化するか
- ② 意思決定における、金銭的費用と隠された費用
- ③ 会計利潤と経済利潤の比較
- ④ 限界分析の原理
- ⑤ サंकコスト(埋没費用)
- ⑥ 時間が重要な要素となるときの意思決定の方法

機会費用と意思決定

資源は希少だ(1章)→どのように意志決定するか

- ◆ **金銭的費用**とは金銭支出が必要となる費用だ。
- ◆ **隠された費用**には金銭支出はないが、そのために失った便益を貨幣額で測ったものだ。
 - 失った「時間」

会計利潤と経済利潤の比較 (ビジネスにおける意志決定)

- ◆あるビジネスの会計利潤はそのビジネスの収入から金銭的費用と原価償却分を差し引いたものだ。
 - 減価償却： 機会の消耗による価値の下落
- ◆あるビジネスの経済利潤はそのビジネスの収入から使った資源の機会費用を差し引いたものだ。
 - 資本の隠れた費用（例：地価の上昇）
 - 時間の機会費用
- ◆通常経済利潤は会計利潤より小さい。

「どれだけか」の意志決定： 限界分析

ある活動の限界費用はその活動をもう1単位増やすことによって追加的にかかる費用である。

Quantity of lawns mowed	Felix's total cost	Felix's marginal of lawn mowed
0	\$0	
1	10.50	\$10.50
2	21.75	11.25
3	35.00	13.25
4	50.50	15.50
5	68.50	18.00
6	89.25	20.75
7	\$113.00	23.75

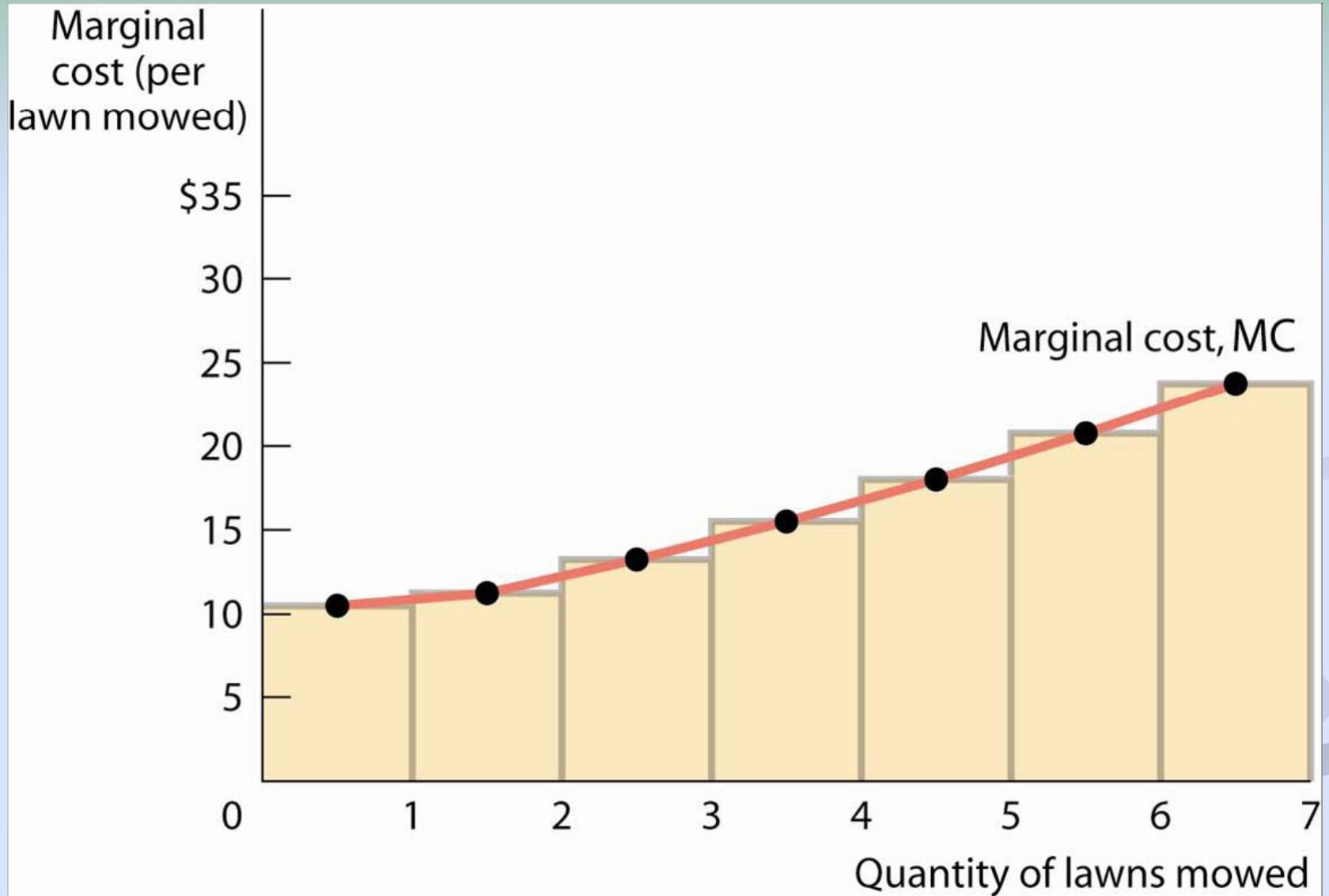
限界費用逦増

フェリックスの限界費用は芝を刈る箇所を増やすにつれて、芝刈りの限界費用が増加している。

もう1単位その活動を増やすことで追加的にかかる費用がその前の1単位よりも大きくなっている場合、限界費用逦増という。

- ・総費用逦増と混同しない！

フェリックスの芝刈り屋の限界費用曲線



限界便益

ある活動の限界便益とはこの活動をもう1単位増やしたことによる便益の増加分である。

Felix's Marginal Benefit of Mowing Lawns

Quantity of lawns mowed	Felix's total benefit	Felix's marginal benefit of lawn mowed
0	\$0	
1	35.00	\$35.00
2	65.00	30.00
3	91.00	26.00
4	114.00	23.00
5	135.00	21.00
6	154.00	19.00
7	\$172.00	18.00

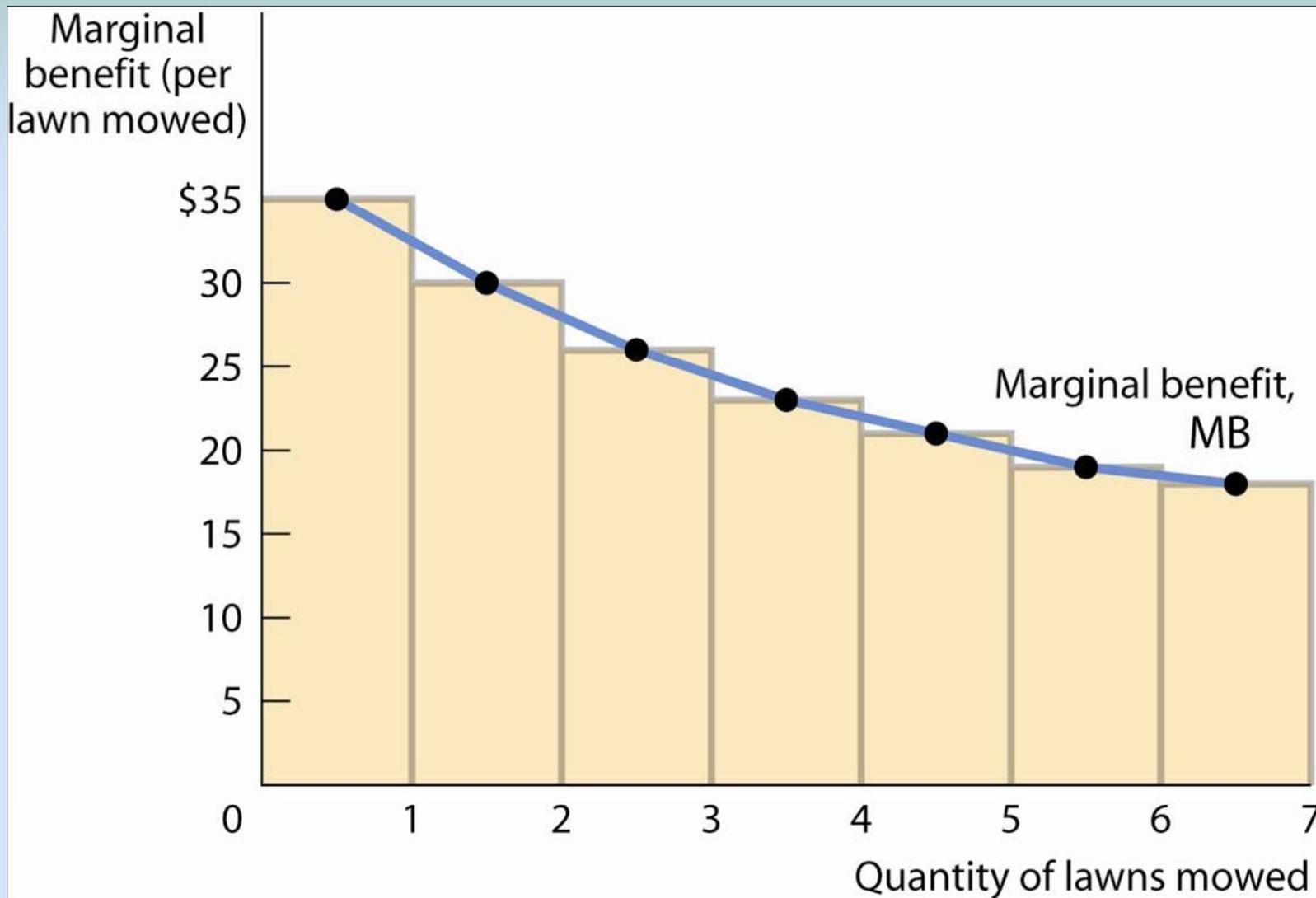
限界便益逡減

もう一箇所芝を刈ることによって生じる便益はその一箇所前の芝刈りが生む便益より小さい → ある活動を増やすにつれて、その限界便益が小さくなる。

ある活動をもう1単位増やすことで、追加的に獲得できる利益がその前の1単位より小さくなる場合、限界便益逡減があるという。

フェリックスの芝刈り屋の限界便益:

限界便益曲線



フェリックスの芝刈り屋の(限界)純利益

Quantity of lawns mowed	Felix's marginal benefit of lawn mowed	Felix's marginal cost of lawn mowed	Felix's net gain of lawn mowed
0	\$35.00	\$10.50	\$24.50
1	30.00	11.25	18.75
2	26.00	13.25	12.75
3	23.00	15.50	7.50
4	21.00	18.00	3.00
5	19.00	20.75	-1.75
6	18.00	23.75	-5.75
7			

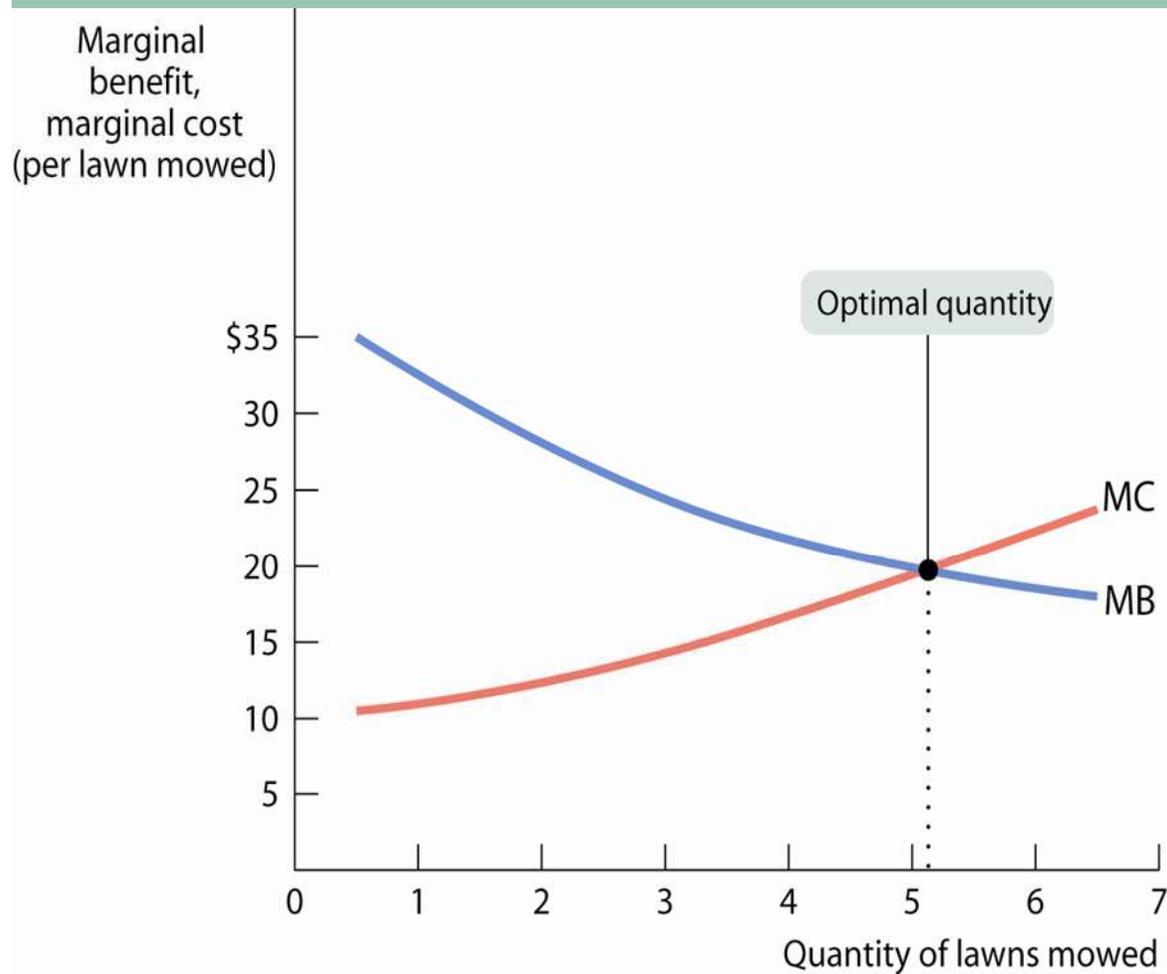
限界分析の原理

活動の最適数量は限界費用と限界便益が等しくなるような数量

(限界純利益がゼロとなる数量、あるいはマイナスとなる直前となる数量)

- ◆ 限界費用 = 限界便益 →
純利益の合計(総便益 - 総費用)の最大化
- ◆ いろいろな状況で使える:
服薬量、勉強時間、交通安全対策 ... etc

最適数量



Quantity of lawns mowed	Marginal benefit minus marginal cost (per lawn mowed)	Total net gain
0		\$0
1	\$24.50	24.50
2	18.75	43.25
3	12.75	56.00
4	7.50	63.50
5	3.00	66.50
6	-1.75	64.75
7	-5.75	59.00

ある活動の最適数量は限界費用曲線と限界便益曲線が交わる数量である。

意志決定のタイミング1: サंकコスト

サंकコストは意志決定する時点において、すでに支払っていて取り戻すことができない費用だ。

意志決定時に重要なのは、活動によって今後新たに発生する便益と費用。

→サंकコストは将来の行動を決めるときには無視すべきだ。(心理的には難しいが)

意志決定のタイミング2: 現在価値の概念

長期のプロジェクトでは、費用と便益の発生するタイミングが異なる。それらをどのようにして比べればよいだろうか。

今日の1万円と来年の1万円、どちらの価値が高いか？

→今年の1万円は来年には利子率分増えており、その分高価値

一年後に生み出される\$1の現在価値は $\$1/(1 + r)$ に等しい、つまり、貸し出して1年後ちょうど\$1 になる金額だ。それは1年後に手に入れる\$1の今の価値だ。

N年後に得られる\$1の現在価値は

$$\$1/(1 + r)^N$$

純現在価値

長期プロジェクトの費用と便益は、どちらも現在価値に直して比較する。

あるプロジェクトの純現在価値は将来にわたって得られる便益の現在価値から、将来にわたって発生する費用の現在価値を差し引いたものだ。

→純現在価値の高いプロジェクトが望ましい

・利率によって純現在価値は変化する

第7章は終わり

次回は

第8章:

供給曲線の裏側:投入物と費用